平成29年度第1回下野市障がい者福祉計画策定委員会 会議録

項目	内 容	
会議名	平成29年度第1回下野市障がい者福祉計画策定委員会	
開催日時	平成29年5月12日(金)午後1時30分~	
開催場所	下野市庁舎 304会議室	
出席委員	(委員長) 鱒渕 泰子 (副委員長) 粥見 美夏 鈴木 寿弥 加藤 英理子 武田 佳子 安田 信子 臼井 雅子 高木 千恵 小島 好子 斎藤 琢磨 白石 孝子 梁島 和由 大橋 珠恵 高橋 佐貴子 高橋 秀男 橋本 恵子	
欠席委員	山中 徹弥 前野 澄子 本田 陽子 深津 静枝	
事務局	広瀬市長(委嘱状交付・あいさつ) 山中健康福祉部長 手塚社会福祉課長 木村課長補佐 田﨑主査 青柳主事 館野主事	
傍聴者	なし	
会議次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 委員長、副委員長の互選 6 委員長あいさつ 7 議 事 (1)会議運営に関する確認事項について (2)第5期障がい者福祉計画に係る国及び県の基本方針について (3)第5期下野市障がい者福祉計画策定スケジュール(案)について (4)その他 8 閉 会	
配布資料	資料1 下野市障がい者福祉計画策定委員会委員名簿資料2 下野市障がい者福祉計画策定委員会設置要綱資料3 下野市障がい者福祉計画策定委員会の会議運営に関する確認事	

項について

資料4 第5期障害者福祉計画に係る国の基本方針の見直しについて

資料 5 栃木県障害者福祉計画 (第5期計画)及び栃木県障害児福祉計画

の策定について

資料6 第5期下野市障がい者福祉計画策定スケジュール (案)

審議内容(原則として発言委員名を明記し、発言の要点のみを記載している。)

3 市長あいさつ

広瀬市長

平成29年度第1回の下野市障がい者福祉計画策定委員会ということで、代表の方に 委嘱状を交付させていただきました。皆様には、快く委員をお引き受けいただきました ことに厚く御礼申し上げます。また、お忙しい中、時間をさいていただきまして、本市 の計画策定にそれぞれの皆さんがそれぞれ得意とする分野、また公募で色々な興味をも って将来の下野市を思っていただける皆さんのご意見をいただきながら、本市の計画を 策定させていただきたいと考えているところです。

国におきましても、昨年改正されました障害者総合支援法においては、医療的ケアに要する障がい児に対する支援等こと細かい部分、また様々な部分で改めて幅広く策定を要するというものが示されております。

本市におきましても、第5期の計画をしっかりと皆さんと一緒に作らせていただきながら、また細かい部分背骨となる部分と色々なところで将来手を伸ばしていかなくてはならない部分、また目を配っていかなくてはならない部分というものを、要所要所にとどめおきながら、本市の形に合ったもの、そして地域の将来にみあったものというものを、しっかりと作っていきたいと考えております。

色々と皆さんには、ご苦労をおかけするかとは思いますが、皆様方のご協力ご支援をいただき、そして共に時代の中に過ごしていけるよう頑張って行きたいと思いますので、よろしくお願い申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

事務局

市長はこの後公務のため、これをもちまして退席させていただきます。ご了承ください。

4 自己紹介

委員及び事務局職員が自己紹介

5 委員長、副委員長の互選

事務局

資料2に基づき説明

委員長、副委員長の互選をしたいと思いますが、皆様ご意見等ありますでしょうか。 鈴木委員

委員長には、昨年度自立支援協議会の会長をされており、また市内施設連絡会の会長である鱒渕委員さんに、副委員長には障がい者の家族の代表のいいこみを運営されている粥見委員さんがよろしいかと思います。

事務局

ただいま鈴木委員より、委員長には鱒渕委員、副委員長には粥見委員とのお話しをい ただきましたが、いかがでしょうか。

委員

異議なし

事務局

よろしいでしょうか。それでは、委員長に鱒渕委員、副委員長には粥見委員にお願いいしたいと思います。鱒渕委員には前の席にお移りいただきたいと思います。

6 委員長、副委員長あいさつ

事務局

それでは鱒渕会長に代表してごあいさつをいただきたいと思います。

鱒渕委員長

工房つばさの鱒渕と申します。自立支援協議会の会長として役割を仰せつかっていまして、当障がい福祉計画につきましても初期の段階から、副委員長という立場で補佐をさせてもらっており、現在に至っております。下野市を代表される皆様がお集まりになっていらっしゃるので、皆様方の力を借りながら、良い計画を立てていければと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

7 議事

要綱第6条第1項の規定により、鱒渕委員長が議事進行

鱒渕委員長

議事に入る前に、会議録の署名人を指名させていただきます。議事録署名人につきましては、この後議事の「(1)会議運営に関する確認事項について」で改めて説明がありますが、指名の方法につきましても事務局案で、名簿の順にお二人ずつ指名させていただきます。今回は、鈴木委員と加藤委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(1)会議に関する確認事項について

事務局

資料2、3に基づき説明

鱒渕委員長

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問があればお願いしたいと思います。公開ということで、会議録の作成上の都合もありまして、マイクで質問等を行っていただきたいことと、質問がある場合は必ず最初に所属とお名前を言っていただいた後に質問等をお願いします。この件について、ご質問等ある方はいらっしゃいますか。

質疑なし

鱒渕委員長

原案通りということでよろしいでしょうか。原案通りといたします。

(2) 第5期障がい者福祉計画に係る国及び県の基本方針について

事務局

資料4、5に基づき説明

鱒渕委員長

この件について、ご質問はありますか。

高橋委員

資料5についてですが、県・市町計画と整合性を図るため圏域で考えるということで、県と市町で意見交換をする、県域で考えていくということであれば、下野市だけではなく、県南域との調整が出てくると思いますが、そういったものを加味しないと、下野市だけのものを作成しても、県南域との整合性が取れないのではないか。過去も含めてこれからどのように考えているのか。

事務局

これから、県南圏域の会議が予定されています。県の方針と市町の方針とを整合性を図らなければならないこと、障がい福祉サービス、児童も含めてですが、県全体として調整を図っていく必要があり、そういったものもありますので、目標値の設定等も含めてでの県南圏域での会議で、事務局で出席し会議において設定値、目標値、方針等整合性を図ったうえで、委員会に図りたいと思います。

高橋委員

県南域としての目標値は、過去、第4期、第3期に計画値として県南域としてブロックごとの目標値は定量的にでているのでしょうか。

事務局

今回、第5期の計画を策定しますが、第4期、過去の計画においても、県南圏域での目標値、設定値を連携しながら設定してきました。これまでも整合性を図りながら計画を策定してきました。

鱒渕委員長

入所施設の利用者数の検証であったり、障がい者の方の就労のパーセントについては国が目標値を示しており、それを圏域が調整して数値を決め、市で調整するという作業は今までもされていました。今後、どういった数値が圏域で調整されるかわかりませんが、過去には県の中でサービスの種類によって総量規制があり、厳密に調整することが必要でしたが、県に確認をしたところ、最近は、生活介護等は地域や数の調整は行っていないということも聞いています。今後この策定をしていく中で、数量の調整のあり方については、事務局から説明をしてもらいながら進めていきたいと考えています。

高橋委員

基本的には、圏域として考える訳ですね。県南域として具体的などのくらいの数値

が下野市としてその中でどういう役割、どういう数値を目標とするのか、それが示されないと、下野市だけの目標値をつくっても、県南域としての目標値の中でどういう位置づけになっているのか、それが示されないと、絵に描いた餅になると危惧していたので、県南でも問い合わせさせていただくと、県南ブロックとしての数値の考え方、資料も県南域と示されているので、県南域は具体的にどのくらいのものをもっているのか、これからどうしようとしているか、その中で下野市はどういう役割を果たしていくのか、そういったものを加味していかないとなかなか具体的なものに進んでいかないということを申し上げたかったのでお聞きしました。

鱒渕委員長

他にご質問はございませんか。

異議なし

鱒渕委員長

原案通りとしてよろしいでしょうか。原案通りとさせていただきます。

(3) 第5期下野市障がい者福祉計画策定スケジュール(案) について

事務局

資料6に基づき説明

鱒渕委員長

この件について、ご質問ございませんか。

異議なし

鱒渕委員長

原案通りとしてよろしいでしょうか。原案通りとさせていただきます。 鱒渕委員長

(4) その他ございませんか。

異議なし

鱒渕委員長

それでは以上をもって終了いたします。

議事録署名人	印
	_
議事録署名人	印